

## 乙訓の文化遺産を守る会 歴史文化教室のご案内

日本文化の源流として今も私たちの暮らしのそこかしこに息づく縄文文化ですが、近畿は縄文時代の後進地だとか、関西の縄文遺跡は全国的には二流どころばかり、とお考えではありませんでしょうか。最近の研究からは、決してそうではないことが解ってきています。

乙訓の文化遺産を守る会では、縄文研究の第一人者であられる京都大学の泉 拓良先生、長岡京市伊賀寺遺跡を調査された京都府埋蔵文化財センターの岩松保さんをお招きしての講演会を企画しております。縄文時代の農耕の可能性が報じられた洛西の上里遺跡と、縄文時代の集落や火葬人骨が出土した伊賀寺遺跡のお話を中心に、縄文研究の最前線のお話を伺います。

日 時 2008年10月18日(土) 午後1時30分より 4時00分

場 所 大山崎ふるさとセンター 3階

京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字竜光三番地

JR 山崎駅西国街道東北 300 メートル 阪急大山崎駅 100 メートル

電 話 075 - 956 - 2310

演 題 「長岡京市下海印寺 伊賀寺遺跡の縄文集落の調査について」

講 師 岩松 保さん (京都府埋蔵文化財調査研究センター主任調査員)

演 題 「西日本縄文文化の新見解

- 京都市・長岡京市域での新発見縄文遺跡が語る - 」

講 師 泉 拓良さん (京都大学教授 考古学・縄文時代)

受講料 無料(資料代を若干徴収いたします。) 申し込み不要

事務局 連絡先 向日市上植野町地後 10 - 12

075 - 933 - 8790 (坂下方)